





紙本墨画山水図 雪舟筆



指定区分	国指定重要文化財(絵画)
読みかた	しほんぼくがさんすいず せっしゅうひつ
所在地	岡山市北区天神町 岡山県立美術館
指定年月日	昭和31年6月28日
解説	<p>ほぼ正方形の紙面に大きいうちわの形を描き、墨色のみで小山水を簡潔に表現した作品。脇に「雪舟」の名を入れ、外の右下隅に中国の画僧「玉澗」の名を記している。雪舟は総社市生まれと伝えられる室町時代の画僧で、中国の明に渡って水墨画を学び、数多くの傑作を残している。</p>
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約15分／路面電車「城下」下車徒歩約3分／宇野バス「表町入口」下車徒歩約3分／岡電バス「美術館前」下車すぐ
公開状況	岡山県立美術館保管
設備	<p>  駐車場  トイレ  障害者用駐車場  障害者用トイレ </p>
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(絵画)
ぶんかざいめい (文化財名)	紙本墨画山水図 雪舟筆
よみかた	しほんぼくがさんすいず せっしゅうひつ
しょざいち (所在地)	岡山市北区天神町 岡山県立美術館
していたひ (指定した日)	昭和31年6月28日
せつめい	室町時代(むろまちじだい)に今の岡山県総社市(そうじゃし)で生まれたといわれている雪舟(せっしゅう)という絵の得意(とくい)なお坊(ぼう)さんが描(えが)いたものです。雪舟が子どものとき、寺(てら)で修行(しゅぎょう)しており、足をつかって自分の涙(なみだ)で描いたネズミの絵の話(はなし)はとても有名(ゆうめい)です。